

2016年度 事業報告

1.環境保全活動のネットワーク構築に関する事業

(1) 連携の推進

概要	実施報告
<p>ネットワークを活用した活動の企画・実施</p> <p>～ネットワーク組織として、環境保全活動の推進、実施</p>	<p>「北海道の自然環境に関わる諸問題のデータ収集とWeb-GISシステムの構築」事業 (事業年度:2016年6月～2017年5月)</p> <p>内容: ・北海道の自然環境に関する多様な情報を、会員等の協力のもとに収集・調査 ・データベース構築・Web公開(Web「きたマップ」公開:2017年5月初旬)</p> <p>連名:酪農学園大学 環境GIS研究室 助成:公益財団法人自然保護助成基金</p>   <p>その他 新規事業なし</p>
<p>環境中間支援会議・北海道</p> <p>～中間支援4団体の相互協力により、効率的な中間支援の環境活動を実施</p>	<p>・「環境☆ナビ北海道」HPの管理、情報提供 ・4組織会議／開催日:5月24日、8月2日、12月26日、3月16日 ・もうひとつの北海道環境白書販売終了・電子書籍化</p>   <p>(協働による活動) 環境学習拠点に関する連続勉強会(環境学習施設等機能強化プロジェクト) 第1回/地域を元気にする施設、施設を元気にする地域 ～地域・市民・施設の共創～ (きたネットフォーラム・分科会で開催)開催日:12月10日、会場:札幌エルプラザ 内容:施設アンケートに基づく成果発表・事例研究等 事例:美幌博物館(美幌町)、種差海岸インフォメーションセンター(青森県八戸市) パネルディスカッション「地域と環境学習施設の共創について考える」 第2回/指定管理者制度と環境学習施設～成果・課題と今後に向けて～ 開催日:3月7日、会場:札幌エルプラザ 内容:講演「指定管理者制度の現状と課題について」/金山喜昭氏(法政大学)</p>  
<p>外部組織との協働</p> <p>～産官学民が実施する事業やイベント、各種委員会等への参加、協力</p>	<p>○会議出席/北海道森林管理局、北海道環境道民会議、北海道環境教育等推進協議会、北海道森林・山村多面的機能発揮対策地域協議会、札幌市環境審議会、災害支援ネットワーク会議、北海道海岸漂着物対策協議会(川口)、道民の森魅力探索会議(川口) ○参加・協力/実践者と考える環境都市SAPPORO(EPO主催)、「札幌圏での大規模災害対策を学び、考える」連続セミナー(EPO主催)(4回)、RCE北海道道央圏ビジョンづくりWS、札幌市環境プラザ展示WS(2回)、スポーツGOMI拾い大会、日本環境教育学会北海道支部</p> <p>■北海道森林・山村多面的機能発揮対策交付金に係る事業(受託事業) 内容:交付金の説明・相談会、活動報告会の開催 地域活動報告・相談会/開催地・開催日:苫小牧・1月31日、旭川・2月2日、岩見沢・2月3日 制度説明・活動報告会/開催日:2月21日、会場:KKR札幌動画撮影 ・事業広報、開催協力、動画撮影、報告書発行 主催:北海道森林・山村多面的機能発揮対策協議会、北海道水産林務部、きたネット</p>  <p>■「グリーン連合北海道交流会」開催協力 (同時開催「市民のエネルギーチェンジ研究会vol.9 in札幌」) 開催日:1月21日、会場:札幌エルプラザ 内容:環境NGO・NPO・市民団体の全国ネットワーク「グリーン連合」の紹介と交流会の開催 ・企画、広報、開催協力 主催:グリーン連合 共催:きたネット、北海道エネルギーチェンジ100ネットワーク 協力:NPO法人ezorock、NPO法人森の生活、NPO法人グリーンファンド</p>  <p>■「病院木質化プロジェクト成果発表会」開催協力 開催日:1月28日、会場:札幌市立大学 内容:ウッドデザイン賞を獲得した「WOOD INFILL病室ユニット」発表会 ・企画・広報・実施運営サポート等 主催:株式会社ハルキ 協力:きたネット</p> 

(2) ネットワークの拡大

概要	実施報告
<p>環境活動の視察やイベント参加、DM配付等により新規会員を獲得する。</p>	<p>○活動PR、ネットワーク会員紹介/酪農学園大学就職ガイダンス(ブース出展)、道民環境パネル展出展(道庁・6/23-6/24)、スポーツGOMI拾い大会(活動PR)、北海道庁・地球環境コーナー展示(活動紹介・PR)、森林・山村多面的機能発揮対策交付金説明会(団体PR)、コープさっぽろ北海道の森づくり交流会(団体PR) ○その他、きたネット関連事業・連携事業等で随時</p>

2.環境保全活動を支援する事業

(1) 会員活動の支援






概要	実施報告
<p>サービスの充実</p> <p>～会員や関係団体のニーズに応じたサービスの提供</p>	<p>○広報協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPやSNSによる情報発信(きたネットblog, twitter, facebook) ・きたネットラジオカフェ放送(団体活動や環境イベント紹介等) ・きたネットNEWSによる団体紹介、情報提供(NPO法人北海道ツーリズム協会、NPO法人EnVision環境保全事務所) ・パンフレット、チラシ等の配布 ○サービスの提供/大判(ポスター)印刷、プロジェクター貸し出し、会議スペース使用提供、コピー・郵送の協力 ○イベント準備・開催の協力 ・「森づくりワークショップ」(雪印種苗株式会社)の開催協力(現地調査、実施の準備・補助) ・「海浜美化フォーラム」(NPO法人北海道海浜美化をすすめる会)パネルディスカッションのコーディネーター(川口) ○その他、相談対応等
活動訪問・取材	




(2) フォーラム等の開催

概要	実施報告
<p>a・きたネットフォーラム</p> <p>北海道の自然環境保全活動に取り組む市民への情報発信と交流・ディスカッションの場として開催。会員、産官学民との連携により、北海道の環境活動の指針となる情報の発信と、パートナーシップの構築をめざす。</p>	<p>■きたネットフォーラム2016</p> <p>テーマ: 北の生物多様性を守るために ～研究者・拠点施設と市民活動は、どう連携できるか～</p> <p>開催日: 12月10日(土)、会場: 札幌エルプラザ</p> <p>内容: 基調講演、分科会、情報交流会</p> <p>基調講演「野生の猛禽を診る・守る～日本とサハラ、猛禽類保全活動の現場から」 / 齊藤慶輔氏(猛禽類医学研究所)</p> <p>研究者・拠点施設と市民活動のつながり～コミュニケーターとしての市民参加 (環境中間支援会議・北海道共催プログラム)</p> <p>「現場と協働した大学院での人事育成」/ 山中康裕氏(北大大学院環境科学院)</p> <p>「北大総合博物館を拠点としたネットワークがめざすもの」/ 大原昌宏氏(北大総合博物館)</p> <p>※CISEネットワーク・トランクキット展示</p> <p>分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A「地域を元気にする施設、施設を元気にする地域～地域・市民・施設の共創～」 (詳細: 環境中間支援会議・北海道欄) ・B「野生との距離感、共生のリテラシー」 / コーディネーター山本牧氏(NPO法人もりねつと北海道) <p>話題「現状と課題・鉛弾規制から、次の一手を考える」 対談「ヒトは、共生を学ばなければいけない」(齊藤慶輔氏・山本牧氏)</p> <p>学び・伝え、拡げるために「分野別 情報交換会」 活動紹介、情報交換会(生物多様性、森林保全・活用、環境教育)</p> <p>共同主催: 一般財団法人セブン・イレブン記念財団 共催: 環境中間支援会議・北海道 協力: CISEネットワーク 参加者: 一般100名、講師8名、スタッフ・関係者19名 録画配信: 視聴のべ519名</p>
<p>b・助成セミナー等の開催</p> <p>環境活動を行う市民団体を主な対象に、助成金に関する情報を提供する。また、助成団体に呼びかけ情報交換を目的とした会議を開催する。</p>	<p>■市民活動助成セミナー2016</p> <p>開催日: 10月23日(日)、会場: 北海道新聞社</p> <p>内容: 助成制度説明会、個別相談会</p> <p>参加団体: 一般財団法人セブン・イレブン記念財団・独立行政法人環境再生保全機構</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人自然保護助成基金・TOTO株式会社 ・公益財団法人コメリ緑育成財団・公益財団法人 秋山記念生命科学振興財団 ・一般財団法人前田一歩園財団・北海道e-水プロジェクト協働事務局 <p>(個別相談会)・生活協同組合コープさっぽろ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人北海道新聞野生生物基金・札幌市市民文化局市民自治推進室 <p>共同主催: 一般財団法人セブン・イレブン記念財団 共催: 公益財団法人北海道新聞野生生物基金 協力: 環境中間支援会議・北海道 参加者: 一般参加者23名、講師13名、スタッフ7名 録画配信: 視聴のべ128名</p> <p>■北海道助成団体サミット2016(同日開催)</p> <p>内容: 助成団体の課題共有、情報交換</p> <p>対象: 北海道の環境活動を支援する助成金や補助金制度を運営する企業・団体・行政</p> <p>参加団体: 一般財団法人セブン・イレブン記念財団、独立行政法人環境再生保全機構、公益財団法人自然保護助成基金、公益財団法人コメリ緑育成財団、TOTO株式会社、一般財団法人前田一歩園財団、生活協同組合コープさっぽろ、北海道e-水プロジェクト協働事務局、公益財団法人北海道新聞野生生物基金</p>






c・講演会等の開催 北海道の環境について学びあう講演会やセミナー、活動交換会、勉強会等を開催し、多様な環境活動の推進を支援する。	■きたネットセミナー(総会同日行事) テーマ:「世界とつながる・世界に発信する「北海道の生物多様性を守るために」 ~世界のうちの北海道、という視点で私たちが守るべきもの、北海道が世界の環境保全に果たすべき役割 開催日:5月21日(土)、会場:札幌市教育文化会館 内容: 講演「北海道の生物多様性を守るために」/吉田剛司氏(酪農学園大 野生動物保護管理学研究室) 説明「RCE北海道道央圏協議会について」/金子正美氏(酪農学園大 環境GIS研究室) 参加者:一般51名(一般・学生30、会員21)、スタッフ13名	
	■きたネットカフェ 内容:環境をテーマにしたカフェ風の勉強会 ①「ワシントン条約締約国会議報告会」/遠井朗子氏(酪農学園大学) 開催日:11月30日、会場:札幌エルプラザ 参加者:一般22名、講師1名、スタッフ4名 ②「自伐型林業の中嶋健造さん勉強会」/中嶋健造氏(自伐型林業推進協会) 開催日:1月13日、会場:きたネット事務所 参加者:一般18名、スタッフ2名	  
	■市民のエネルギーチェンジ研究会 内容:再生可能エネルギーについて、北海道内の活動事例の紹介・意見交換 共催:北海道エネルギーチェンジ100ネットワーク 「市民のエネルギーチェンジ研究会vol.9 in札幌」 (「グリーン連合北海道交流会」同時開催) 開催日:1月21日、会場:札幌エルプラザ 参加者:一般23名、講師・関係者9名	

(3) 情報提供・啓発




概要	実施報告	
多様な北海道の環境活動や情報を提供し、環境啓発を図る。	○きたネットラジオカフェ放送 (放送日/ゲスト) ・5月4日/北海道林業技士会 ・7月6日/西区ホテルの会 ・9月7日/環境学習フォーラム北海道 ・11月2日/中間支援会議・北海道 ・1月11日/酪農学園大学 環境GIS研究室 ・3月1日/個人・大澤俊信氏(大澤産業) ○SNS情報発信 きたネットWeb、blog、twitter、facebook ○きたネットNEWS 9月発行/1000部、12月号外発行/会員のみ200部	

3.環境保全活動に関する事業

(1) ラブアース・クリーンアップin北海道





概要	実施報告	
身近な活動を地球環境保全の意識啓発につなげるため、北海道各地のごみ拾い活動の情報を集約・発信する。イベント実施や産官学民とのパートナーシップ構築により環境啓発を図る。	■ラブアース・クリーンアップin北海道2016 参加期間:4月1日~11月30日 内容:北海道各地の清掃活動をWeb等で紹介、情報提供・事例紹介、イベント開催 HPの運用・管理、情報発信、活動展示(4/1~4/7・札幌エルプラザ) イベント実施(ごみ拾い活動・自然観察会) ①オープニング!ごみ拾い/開催日:4月16日、場所:札幌市(札幌駅~中島公園) 参加者:一般39名、スタッフ14名、ごみ収集量:約30kg ②ごみ拾いビーチウォーク/日時:6月12日、場所:石狩市(石狩浜) 共催:NPO法人海浜美化を進める会 協力:NPO法人いしかり海辺ファンクラブ、NPO法人ezorock、北海学園P-コネクション 参加者:一般617名、スタッフ47名、ごみ収集量:約1700kg+処理困難物 ③インターナショナルごみ拾いビーチウォーク/日時:9月20日(日)、場所:石狩市(石狩浜) 共催:NPO法人海浜美化を進める会 協力:NPO法人いしかり海辺ファンクラブ、北海学園P-コネクション 参加者:一般67名、スタッフ36名、ごみ収集量:約290kg+処理困難物 助成協力:一般財団法人 セブン-イレブン記念財団、一般財団法人石狩川振興財団 参加数:956企業・団体、25930名、協賛23件	  

(2) 森づくり事業



概要	実施報告	
a・ラブアースの森づくり 2012年度までに植樹をした地域で一般を対象に育樹活動を実施。会員との連携による活動。	■ラブアースの森づくり 内容:森の手入れ(下草刈り、除間伐等の育樹作業)、自然観察会 ①札幌/開催日:5月22日、6月22日、10月22日 場所:札幌市茨戸川緑地 作業:下草刈り、除伐、枝打ち、ネズミ防除作業 参加者:のべ58名 共催:NPO法人森林遊びサポートセンター ②白老/開催日:10月9日、場所:白老町 ラブアースの森、トラストの森 作業:除間伐、枝打ち、ウヨロ川フットパスウォーキング 参加者:参加者33名、ウヨロ11名、スタッフ4名 共催:NPO法人ウヨロ環境トラスト 助成協力:公益財団法人北海道森と緑の会	  

b. ネットワーク構築 「森づくり★ナビ北海道」の運用	「森づくり★ナビ北海道」へ森づくり情報の発信	
---------------------------------------	------------------------	--

4.その他事業

概要	実施報告	
コープさっぽろ連携事業 「コープ未来の森づくり基金」(あずもり)が実施する森づくりに関する行事や助成制度事業の運営協力	<p>コープ未来の森づくり基金の事務局業務(受託事業)</p> <p>内容:基金が運営する植樹・育樹祭、調査研究、助成事業等の事務局サポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議開催準備と出席:事務局会議、運営委員会、助成審査委員会、その他事業の準備委員会 ・植樹祭、育樹祭の開催準備、運営協力(植樹祭6月4日、育樹会7月2日、育樹祭9月10日) ・調査研究旅行の企画、調整、準備、実施協力(10月18-19日) ・あずもりサポーター通信作成協力 ・助成事業関連補助:集約、募集等の協力 ・北海道の森づくり交流会(1月30日):広報、運営サポート <p>あずもり&円山動物園連携プロジェクト</p> <p>内容:動物園内で実施する環境教育プログラム「どんぐりプロジェクト」(9月22日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発、企画、実施の協力 <p>関連業務の共同実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冊子「モリイイク」の製作協力:記事作成、配布協力 ・植樹祭・育樹祭 現地準備作業等協力 	  
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・会員外のCSR相談等対応 (アデランス、ファイターズ、コカ・コーラ(アースカフェ)、エコモビリティ、酪農学園大学、tree等) ・まちエネ大学(経産省・tree):講師紹介・広報協力 ・三幸学園:イベント、環境関連展示協力 ・北海道自伐型林業推進協議会:相談交流会開催 	

事業外・事務局

会議	<p>総会／開催日:5月21日、会場:教育文化会館</p> <p>理事会／開催日:7月2日、10月5日、3月29日、(臨時)4月29日</p> <p>運営会議／開催日:8月31日</p> <p>全国中間支援会議出席／開催日:12月14-15日</p>	
広報等	<p>会報 7月発行／会員情報、総会議事録を掲載</p> <p>広報物 広報紙「きたネットNEWS」／9月発行 パンフレット／未発行</p> <p>情報提供 情報発信(きたネットWeb、blog、twitter、facebook)、きたネットラジオカフェ放送、きたネットNEWS発行、その他ホームページのリニューアル／未着手</p>	
基盤強化	<p>5カ年計画の推進 アカデミックサポートチーム準備</p>	
その他		

きたネット会員(3月31日現在) 正会員 団体:64、個人:16名 / 賛助会員 個人:62名、企業・団体:16

■2016年度 新規会員(敬称略)

正会員:(団体)当別森林ボランティア「シラカンバ」、NPO法人大雪山自然学校、旭山記念公園市民活動協議会、冷水峠森づくりの会、NPO法人シマフクロウ・エイド、酪農学園大学 環境GIS研究室、酪農学園大学 野生動物保護管理学的研究室、一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ、北海道エゾシカ倶楽部、北海道自伐型林業推進協議会
(個人)上松 靖史、尾崎 脩
賛助会員:青柳 正太郎、岸澤 隆、千葉 正和

■2016年度 ご寄付・協賛をいただきました(順不同・敬称略)

DCMホームマック株式会社、KDDI株式会社、公益財団法人日本賃貸住宅管理協会北海道ブロック、公益社団法人全国賃貸住宅経営者協会北海道支部、全国賃貸管理ビジネス協会北海道支部、株式会社北翔、一般社団法人札幌空調衛生工事業協会、北日本測地株式会社、伊丹車輛株式会社 北広島支店、石上車輛株式会社、丸利 伊丹車輛株式会社、ソリトン・コム株式会社、札幌工業株式会社、山本建設株式会社、株式会社宅建、親切会北海道支部、株式会社ファズ、有限会社ドルフ、株式会社オール、川正染工株式会社、株式会社セクト、株式会社リロケーションサービス、株式会社江上、北海紙管株式会社、草野芙美子

